

様式第3号（用紙 日本産業規格A4縦型）

事業計画（変更事業計画、実績）書

（分娩施設名： _____）

1 分娩費用

一般的な分娩費用 （分娩費用の内訳の合計と一致すること）	
標準入院日数	

（分娩費用の内訳）

分娩（管理・介助）料	入院費用	胎盤処理料	処置料・注射料・検査料	産科医療補償制度の掛け金	その他	分娩費用合計

- （注） 1 初産妊婦が、平日の昼間に正常分娩した場合、一般的に入院から退院までの分娩費用として徴収する金額を記入するものとし、妊産婦が任意で選択できるサービスに係る費用については含めないこと。
- 2 欄に記入しきれない場合には、費用の内訳がかわる資料の添付に代えて差し支えない。

2 分娩件数

当該年度の分娩取扱（見込）件数	件
うち分娩手当等の支給対象となる分娩件数	件

分娩手当等の支給対象を限定している場合は、以下に支給対象となる分娩について記載してください。

3 分娩手当等の単価及び職種別支給状況

対象職種等	手当の対象となる分娩件数（職種別） (A)	手当単価 (B)	分娩手当等支給額 (A×B)
計		—	

- （注） 1 本補助金の助成対象となるもののみ記載すること（本補助金の対象とならない分娩取扱者以外の医師（麻酔科医など）や、看護師等については記載しないこと。
- 2 正常分娩と異常分娩で単価が違う場合など、単価が変わる場合は欄を分けること。

事業計画 (変更事業計画、実績) 書

(分娩施設名: ○○産婦人科医院)

1 分娩費用

一般的な分娩費用 (分娩費用の内訳の合計と一致すること)	381,500 円
標準入院日数	5 日

(分娩費用の内訳)

分娩 (管理・介助) 料	入院費用	胎盤処理料	処置料・注射料・検査料	産科医療補償制度の掛け金	その他	分娩費用合計
135,000	100,000	13,000	33,000	30,000	70,500	381,500

- (注) 1 初産妊婦が、平日の昼間に正常分娩した場合、一般的に入院から退院までの分娩費用として徴収する金額を記入するものとし、妊産婦が任意で選択できるサービスに係る費用については含めないこと。
 2 欄に記入しきれない場合には、費用の内訳がかわる資料の添付に代えて差し支えない。

2 分娩件数

当該年度の分娩取扱 (見込) 件数	600 件
うち分娩手当等の支給対象となる分娩件数	600 件

過年度の実績や今年
の取扱い件数を参考
に実数に近い数で少
し多めに記入して下
さい

分娩手当等の支給対象を限定している場合は、以下に支給対象となる分娩について記載してください。

分娩手当の支給対象とな
った分娩件数を記入して
ください。

様式2号の基準額算出に使用
します。

3 分娩手当等の単価及び職別支給状況

対象職種等	手当の対象となる 分娩件数 (職種別) (A)	手当単価 (B)	分娩手当等支給額 (A×B)
医師	100 件	20,000 円	2,000,000 円
助産師	600 件	5,000 円	3,000,000 円
計		—	5,000,000 円

- (注) 1 本補助金の助成対象となるもののみ記載すること (本補助金の対象とならない分娩取扱者以外の医師 (麻酔科医など) や、看護師等については記載しないこと。
 2 正常分娩と異常分娩で単価が違う場合など、単価が変わる場合、区別を分けること。

様式2号の総事業費の「産科医等確保支援事業
(分娩手当等)」欄に転記してください。